

文部科学大臣 祝電

第63回東北連合小学校長会研究協議会山形大会が開催されますことを心からお喜び申し上げます。

御参加の皆様におかれては、日頃から小学校教育の充実・発展に多大なる御尽力を頂いておりますことに心から感謝を申し上げますとともに、深く敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症への対応については一つの節目を迎えましたが、今後は、コロナ禍を経て再認識された学校の役割を踏まえつつ、GIGAスクール構想によって一気に整備が進んだICT環境も一層活用しながら、いわば新しい学びの在り方へと進化を図っていくことが大切です。また、先般閣議決定された新たな教育振興基本計画では、初等中等教育においては、一人一人の子供たちの可能性を最大限引き出し、将来の予測が困難な時代においても自立的に生き、主体的に社会の形成に参画していくための資質・能力を育てていくことが重要とされています。

こうした中で、本大会が、「人間力に満ちあふれ 社会や地域の持続的発展に貢献できる子どもを育てる学校経営の推進」を主題に開催され、時代の変化を踏まえた各地の優れた実践が共有・普及されることは大変意義深いものがあります。本大会を通じて、今後の小学校教育のより一層の充実・発展が図られることを心から期待しております。

文部科学大臣 永岡 桂子

